

関東大学ラグビー・リーグ戦で今季、41年ぶりの優勝まであと一歩に迫った中央大学ラグビー部。90年の歴史を誇る古豪だが、最近10年間で大学選手権への出場は1度だけだった。低迷していたチームはよみがえり、3年ぶりの大学選手権のグラウンドで躍動を続ける。「自分が経験した楽しさをこいつらにも味わわせてやりたい」。4年目を迎えた監督、松田雄(40)の思いはその一点に尽きる。

4年前、初めて選手と顔を合わせた時を松田は忘れない。「このチームは『孤島』だと思った。選手は世の中を斜めから見て『また嘘つきの大人が来た』という目をされた気がした」

松田は高校でラグビーと出会った。それまで183センチ、105kgの巨漢を持って余し、先輩に誘われ「ちょっとやってみるか」程度の

## 「マネジメント術」にみる名將

中央大学ラグビー部

松田 雄監督

①



思いだった。青春の3年間でラグビーを続けられた」なども代わってくれた優し  
は「精神修行。反骨心だけ 親友の名は阿部大樹。松  
でやってきた」。入学後半 田と違い、一般試験で入学  
年で体重は80kgを割った。した同じロックだった。高  
中央大1リコーと33歳ま 校時代、何度も投げだそう  
で一線でラグビーを続けた とした松田を思いとどまら  
松田だが、長い現役生活の せた。「おまえだけ逃げる  
心の支えになった1人の同 なよ」。1年生から試合で  
級生がいた。「彼のおかげ 活躍した松田を思い、洗濯

# 「らしさ」追求へ「心不乱

阿部の存在などを支えに 出場を逃した。「悔しかつ  
高校時代は折れそうな心を たが、仲間とともに過ごせ  
どつにかつないだ松田だっ た充実感があつた」  
たが、大きな転機が訪れる。 チームのベクトルの方向  
3年時に選ばれた高校日本 は驚くほど一致していた。  
代表で衝撃を受けた。「ラ 試合前、出場できない選手  
グビーってこんなに楽しい も1人ずつ自分の役回りを  
んだ」。ライバル校の選手 宣言した。「私はロッカー  
が笑顔で楯田球を追いかけ 当番をしつかりこなしま  
る姿が心底、 羨ましかつ  
た。

花園出場は 一心で監督を務める。  
レーさせてあげたい。その

まつた・ゆう 1973年  
生まれ。東京都出身。東京高  
校でラグビーを始め、3年時  
に高校日本代表に選出されカ  
ナダ遠征に参加。中央大学で  
は全国大学選手権に3度出場  
し、4年時に主将を務める。  
リコー入社後もロック、フラ  
ンカーで活躍し、98年、20  
00年に関東代表豪州遠征に  
参加。ロックとしては小柄な  
がら相手を恐れず突進するア  
レススタイルで多くのファン  
を魅了した。07年に現役を引  
退。10年、中央大学ラグビー  
部監督に就任した。

逃したが、中央大でラグビ  
ーへの愛情は一段と深まっ  
た。「朝練もあり練習は厳  
しかったがすごく楽しい毎  
日だった」。100人以上  
の仲間が存在、団結力のす  
ばらしさ。「勝って泣き、  
負けて泣く。中央大に教え  
てもらった」と振り返る。  
4年時に主将を務め、リ  
ーグ戦の最終戦で勝てば優  
勝、負ければ6位の大一番  
を迎える。関東学院大学に  
惜しくも敗れ、大学選手権

出場で逃した。「悔しかつ  
たが、仲間とともに過ごせ  
た充実感があつた」  
チームのベクトルの方向  
は驚くほど一致していた。  
試合前、出場できない選手  
も1人ずつ自分の役回りを  
宣言した。「私はロッカー  
当番をしつかりこなしま  
す」。中央大ラグビー部が  
忘れかけたこんな雰囲気  
の中で、今の学生たちにもプ  
レさせてあげたい。その

中央大時代、松田が出場  
する試合を車いす姿の阿部  
が必ず観客席で見守った。  
「理想は大きな『中央の杜  
(もり)』をつくること。  
親や全国のOB、応援して  
くれるすべての皆さんに支  
えられている。最高の恩返  
しの場になる」。22日、41  
年ぶりの大学選手権ベスト  
4を懸け、強豪・早稲田大  
学に挑む。

敬称略  
(阿部将樹)